

コミュニティ常盤

平成7年4月15日

No. 26

発行

常盤校区コミュニティ推進協議会
(常盤コミュニティセンター内)

TEL 22-1455



スクスク育て常盤っ子

楽しく「ひな祭」を祝う

♪ 明かりをつけましょ雪洞にし。お花をあげましょ桃の花。♪
今日は三月三日、ひな祭りです。常盤校区母子保健推進協議会では、子育ての輪作り運動の一環として、

三才迄の乳幼児を対象に、常盤市民センターでひな祭りを行いました。
手作りのおひな様を、お母さんと子供達がいっしょになって、一生懸命作りました。とっても可愛いおひな様が出来上がりましたよ。

又、ルンビニ保育園の相原先生をお招きして、牛乳パックで作ったおもちで遊んだり

親子で楽しい手遊びをしました。ほら、子供達の歌声が聞こえてくるようでしょう。

最後に、母子保健推進員の作ったおやつを食べて、ワイワイ、ガヤガヤ、嬉しいひな祭りを終えました。



「おいしかった!!」

ポンポラ飯

第三回あるウオーク大会
(青少年健全育成協議会、社会教育推進委員会主催)
が、三月十一日、青年の家広場周辺で行われた。



参加者は親子十三組をはじめ、二〇〇人の参加があった。
青年の家広場をスタート、ゴールの約五キロを二時間半かけてあるく、途中、ゲームや校区にまつわる難問に挑戦しながら、常盤の自然を満喫した。



奉仕は常盤の心

自治会連合会長
藤 永 保 成

「歳月、人を待たず」。
の感を、毎年深くするもの
ですが、昭和六十年四月、
恩田、西岐波両校区が、分
離、合併し新たな行政区が
設立され、はや、十年を迎
えました。

当初、地域の特性をいか
した、心のふれあうコミュ
ニティづくりが急務でし
た。
各種団体の設立。生涯教
育の一環としての、各教室
を開催いたしました。

しかし、人材、経済的に
も、全くゼロからのスター
トであり、当時の役員の方
々の心労は、察して余りあ
るものがあります。

しかし奉仕は「常盤の心」
として、みなさまのご協力
はもとより、各種団体の特
性をいかした、活発な活動
により、地域のみなさまの
連帯意識が高まり、着実に
前進し、多大の成果を収め
ていることは、誠に喜ばし
いことであります。

今日の長寿社会の進行、
情報化の進展など、急速に
変容しつつあるとき、二十
一世紀を展望した愛郷心、
連帯感を高めて「住みたく
なる常盤」の、まちづくり
のため各種団体との連携を
図り、地域の方々のご理解
と、ご協力を得ながら、尚
一層の「福祉コミュニティ
づくり」を進めてまいりた
いと思えます。

ここに、十年の節目に当
たり、設立当初を振り返り
ながら、今日まで、まちづ
くりのために、ご尽力を賜
った、諸団体並びに、地域
のみなさまに対し、心より
感謝の意を捧げるものであ
ります。



10年を迎えて



区民の心を支えに

コミュニティ推進協議会
副会長 吉 國 昌 和

文化、スポーツの拠点で
ある市民センターが、一九
八五年（昭和六十年）四月
美しい常盤湖畔に生まれ
た。
私たちが区民の願いを込め
て、その経緯を思えば劇的
ともいえる誕生であったと
記憶する。常盤小学校の開
校から七年を経過して常盤
校区は洋々の船出となっ
た。いち速く組織された自
治会連合体の元に、各種の
社会活動団体も組織され、
年を追ってその活動はめざ
ましく、区民と共に発展し
てきました。文化、教育、
スポーツの振興を根幹に、
子ども会、老人クラブ、婦
人会等の活躍は、既に区民
の生活の一部として不可欠
のものとなったのです。地
域に生まれ地域に育つ私た
ちは、いつも明かるく楽し
い校区であることを願い、
十歳の誕生を更なる発展の
契機としたいものです。



校区の皆様

お世話に
なりました

寿恵村 忠 則

私は平成三年六月から平
成七年三月の約四年間、常
盤校区社会教育指導員とし
て市民センターに勤務いた
しました。長い教員生活の
経験を生かし、高齢者学校・
放送利用学級・婦人ボラン
ティア教室そして同和教
育・青少年健全育成など社
会教育面を担当いたしまし
た。

四年間を振り返ってみま
すと常盤校区のたくさんの方
と知り合いになれたこと、
どの教室をみても会員
が生き生きと前向きに取り
組まれたことが思い出され
ます。特に今回二年間市の
指定の婦人ボランティア教

これは、私もふるさ
と東岐波のために常盤をお
手本に微力を尽したいと思
っております。

最後に、常盤校区の更な
るご発展そして校区の皆様
の方ますますのご健勝を祈
念して、お別れのご挨拶と
いたします。

運動会、夏祭り、文化祭



となる市民センターを基軸
に、次の十年へ向って校区
の益々の発展を願ってやみ
ません。



ペンクレー

早朝プロムナード

岡ノ辻 村野 和 恵

海が見える所に住みたいと、ここ岡ノ辻へ来て十七年になります。宇部市の誇りとする常盤公園も歩いてすぐの所にあり、自然環境に恵まれたこの地がとても気に入っています。

近頃は、運動不足解消と健康管理に、又、四季折々自然の変化を求めて歩くことにしています。

ある日曜日の早朝、軽快な服装に着がえ、夫と家を出る。「今日は何のコースにしようか」と歩きながら相談。「常盤湖を右まわりしよう」……と。すがすがしい空気は何と気持ちのいいことか。私達と同じ思い(の)の人達が向こうから

やってくる。「お早うございませう」とお互いに言葉をかかわす。途中木々の間から聞こえてくる鳥のさえずりを聞きながら……やがて林の切れ目から左側に湖が見えて来る。歩き進んで行くといろんな角度から違った景色が楽しめる。白鳥大橋をわたる頃それは、クライマックスに達する。菖蒲園に来ると「ここも落ち着いていいね」と夫。東の方を見ると湖の上に空がほんのり赤くなり、彫刻の丘に着く頃には太陽が少しづつ姿を現わします。常盤橋にさしかかると、二羽の白鳥がすつと寄り添っては長い首をリズムカルに交叉させラブコールをしています。とても幻想的な愛のシルエットです。しばしみとれてしまいました。快い汗を流して家にたどり着く頃には一時間半が経過しています。

常盤湖周廻路はまだたくさん四季の姿を見せてくれます。皆さんにも早朝プロムナードをお勧めします。

（次回は、後岡の辻の梅林京子さんにお願います。）

阪神大震災に対する義援金のお礼

この度の大地震災に対しまして、早速、皆様方からの善意あふれる義援金を拠出していただき誠に有難うございました。

皆様方の心のこもったご協力により常盤校区で2,263,024円の義援金が集まりました。

つきましては、この金額を宇部市自治会連合会から共同募金会を通じ被災地に送らせていただきました。

報告かたがた厚くお礼申し上げます。

常盤校区自治会連合会
会長 藤 永 保 成

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。常盤校区の福祉事業のため、有意義にわかせていただきます。厚くお礼申し上げます。

(自平成7年1月～自平成7年3月)

- 笹本 富夫様 亀浦東 ご母堂 笹本 玉代様
- 長尾 勝代様 大沢西後 ご母堂 長尾 フサ様
- 河本キヌ子様 東則貞2-8区 ご夫君 河本 昌章様
- 細野クニヨ様 亀浦台 ご夫君 細野 賢二郎様
- 榊 富庄甫様 則貞(榊富理容院) ご令息 榊 富浩二様
- 茅 富佐子様 岡の辻 ご夫君 茅 清様
- 前田成子様 則貞3-7-17 ご夫君 前田 定人様

常盤校区社会福祉協議会

春の交通安全健民運動実施

思いやり みんなですすめる
交通安全



交通安全シンボルマーク

期間

5月11日(木)～
5月20日(土)



図書室より

お知らせ

「市民センター図書室」の貸し出し図書が、新しくなりました。

お気軽に、お立ち寄りください。

貸出し 毎週土曜日(但祭日は休み)

時間 十四時～十六時

(母親クラブ)

追憶

— 従軍の思い出 — (四)

藪本義雄

また果物も多くバナナ・パイナップル・ドリアン等も豊富で、小鳥も多くいて原色のような色をした小鳥は実にきれいでした。パイナップルの皮をむいて味噌の中に漬け、四・五日もするとおいしい味噌漬けのできあがりです。その味を噛みしめて日本を思い出していました。戦地にありながら戦争を忘れたような生活も三カ月後に任務を無事に終わり、他の部隊の兵士と交代しケマの本部に帰隊しました。

警備のため何箇所かの部落を回りましたがソンドルという部落の駐留警備が一番長かったように記憶しています。ソンドルには現在問題になっている慰安所があり、慰安婦は現地人も含め約二十人くらいおりました。もちろん日本軍人専用の慰安所でした。慰安婦の中には遠くジャワ島スラバヤ出身の若い女性も三名ほどいました。話を聞いてみるとスラバヤにいる日本軍の憲兵が来てセレベス島のメナドで喫茶店勤務の仕事で給料が高いからと反強制

としました。後で聞いた話ですが、その大機動部隊はその後進路を北にとり、フィリピンに逆上陸したのです。退路を断られた我々は今後どうなるのだろうか、この戦争はもう負けだなあと、心ひそかに思ったものです。その後の戦況は一切不明で、大隊本部の幹部だけが知っていたのです。軍歴書には「昭和二十年一月一日より同年七月二十四日まで独立歩兵第三七五大隊銃砲隊にありて東北部セレベス地区警備」と書いてあります。

し無理でも歩かなければ作戦に支障が生じます。昼は歩き、夜は野営の連続で、辛い辛い南進でした。今日は何日かもわかりません。ある日、米軍が一機だけ飛来し、たぐさんのピラを撤きました。ピラの内容は日本軍無条件降伏と書いてありました。それを見た現地人はウソだ日本軍が負けるはずがないと言っていました。私達は半信半疑で、もしかしたらと思っておりました。そして明くる日、すなわち昭和二十年八月十七日、大隊本部より連絡が入り、独立歩兵第三七五大隊の先発小隊は一切の軍事行動を直ちに停止してその場所においてその後の指示を待てという命令を受け、我々全員はしばらく呆然としていましたが、ついに戦争に負けたんだ、米軍機のパラの内容は本当だったのだと思うようになりました。俺たちは果たして日本に帰れるのだろうか、内地はどうなっているんだらう等々いろいろ考えました。が、情報がぜんぜんわからない今は何を考えても無駄でした。

年も明けて昭和二十年の何月だったでしょうか。突然非常招集のラッパの音が密林の中に鳴り響きました。集合場所で大隊長の岩本少佐の「敵の大機動部隊がニユーギニア洋上付近にありセレベス島上陸作戦の可能性大なり、心して一身を御国のために捧げよ、今後は各中隊にて待機せよ」との訓示を受け、ついに来るべきものが来たかと覚悟を決めて完全軍装のまま兵舎でその後の命令を待ちました。一睡もせず朝が来ました。そして昼ごろ平常の勤務に戻れとの命令が下されホッ

キニーネを持って現地人の家に行き、キニーネと椰子酒の蒸留酒三升くらいと交換してもらい、早速酒盛りを始めました。椰子酒の蒸留酒はアルコール度が五十度くらいあり、強い酒でした。飯盒の中蓋に注いで飲み、酒の酔いがまわって来ると誰からともなく軍歌の「戦友」の合唱が始まりました。ここはお国を何百里、涙涙の合唱でした。戦争に負けた失望感と不安が一杯で、これから先のことは誰にもわかりません。外は激しい雨が降り続いていました。

あり、我々は口惜しい思いと安心感が胸の中にありました。二・三日してから連合軍の命令で武装解除が始まりました。連合軍からは誰も来ませんでした。自分達で我々部隊の兵器別弾薬別に集積しました。連合軍の指示する集積場所に持って行くためです。ところが九二式重機銃だけは、丁寧に梱包し油も塗っておくようにとの指示がありました。梱包しながらこの機銃ともお別れかと思うと感無量でした。

翌日大隊よりの命令で、以前駐屯していたソンドルという部落の兵舎に帰ることになり、また逆戻りです。赤道直下まで下ってきたのに、約二十日もかけて失望感を胸に抱いて北上を始めました。誰も無口で足取りも重く、現住民の白い眼を横眼で見ながら、まさに敗残兵でしたが、まだ銃や弾薬を持っているので少しは心強く思っていました。

やっとの思いで懐かしいソンドルの兵舎に帰ってきましたが、気が重くて長い長い行軍でした。部隊長の刺示で「八月十五日、日本は連合国に対し無条件降伏した。今後は連合軍の指示に従い行動する」との話が

大沢住宅自治会長 宇部市西岐波二三四

コミュニティー常盤

平成7年8月15日

No. 27

発行
常盤校区コミュニティー推進協議会
(常盤コミュニティーセンター内)

TEL 22-1455



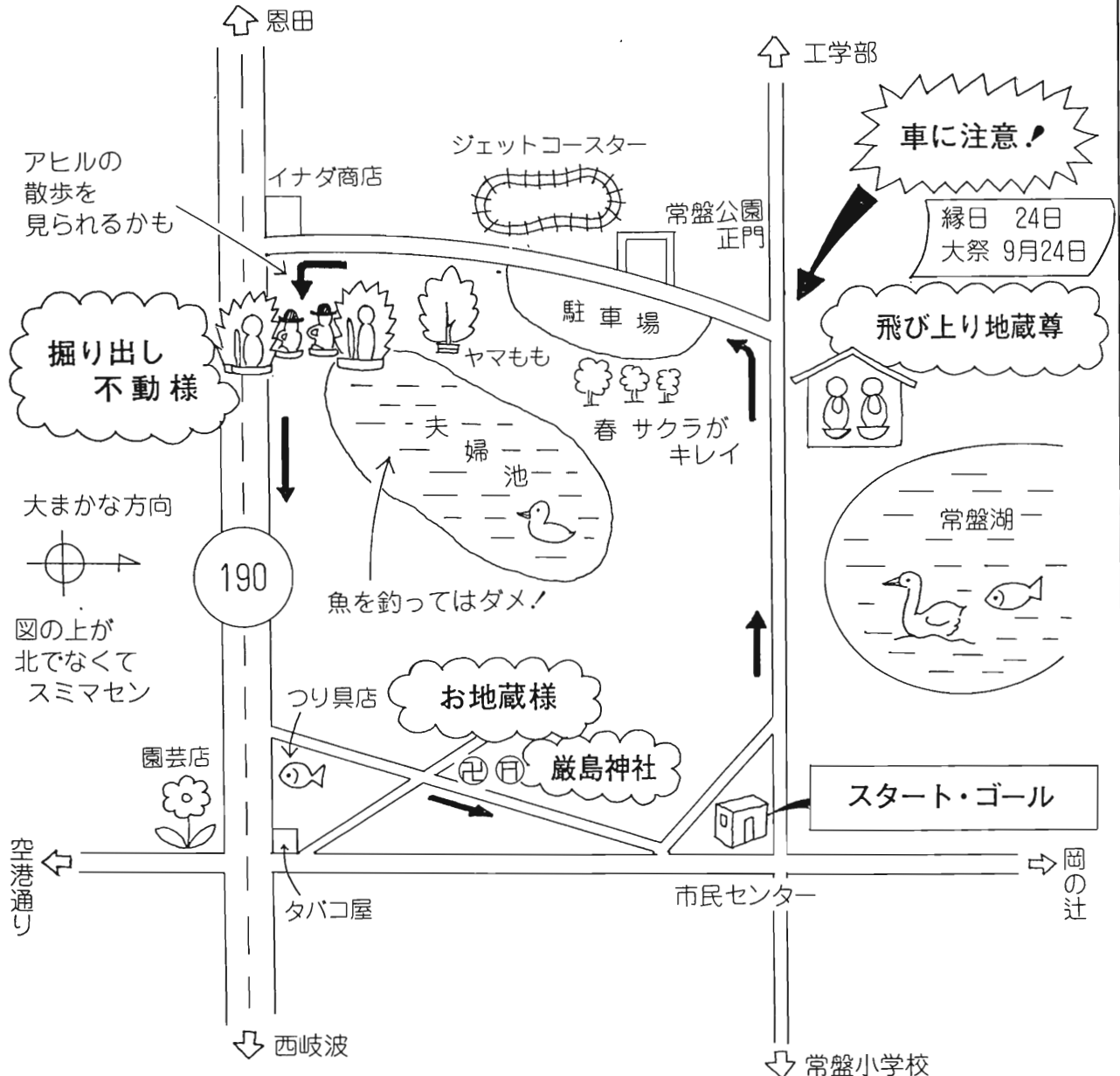
さわやか散歩マップ

＝その1 おまいりコース＝

所要時間 20分
約 2000歩

ではまず第一弾。私達編集部員が腰に万歩計をつけて作成した、常盤湖周辺さわやか散歩コース、二千歩級から御紹介します。

一日30分を目標に
フアイト!!
フアイト!!
毎日暑いですね。本号より健康シリーズをお届け致します。順次、身近で手頃な散歩コースや健康に関する話題について一面をにぎわす予定ですので乞う御期待。



転任にあたって お礼と、ご挨拶

大塚 徹

盛夏の候、皆様方におかれましては、ますます御清栄のことと存じます。私こと、今年四月一日付で、本庁・経済部工業振興課長に命ぜられ転任いたしました。

常盤市民センター在任の三年間、公私にわたる数々の御厚情、御指導を賜り、誠に有難うございました。

ふつつかながら、何とか職務を行うことができたのも、ひとえに皆様方のお導きの賜物と心より感謝し厚くお礼申し上げます。

皆様方の自治会活動並びに、ふるさとづくりの熱心な諸活動に共に参加し学ばせて頂いたことは、今後の人生において、また市の職員として職務を果たして行く上での貴重な経験、宝物となりました。

転任先は、常盤校区に縁の深い職場でもあり、市の一員として、皆様に預いた御芳情に少しでもお応えできたらと念じております。

今後とも、何卒よろしく御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、皆様方のますますの御健勝と合わせて常盤校区の一層の御発展を心よりお祈り申し上げます。

遅くなり、また粗辞ではございますが、この紙面をかりましてお礼を申し上げます。



常盤市民センター
館長 重本 正夫

今年四月一日付の人事異動によりまして、大塚徹前館長の後を受けて常盤校区の皆様にお世話になることになりました。

白鳥と緑豊かな常盤公園と波静かな常盤海岸に囲まれ「明るく住みよい町づくり」のため努力されている常盤校区は、



着任のご挨拶

社会教育指導員
金光 弘成

本年、四月より当セ

ンターにお世話になることになりました。浅学非才、皆様にご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが誠実、着実に微力を尽す所存でございます。

現在、わたしたちは高齢化、国際化、高度情報化など今まで

「ふれあいの場づくり」をコミュニティ目標に推進され、今年で校区設立十周年を迎えられた節目ある年に校区の皆様にご温かく迎えていただき大変ありがたく思っております。

これから常盤校区の一員として、皆様が築かれ支え、豊かにされた校区がますます発展するため微力ではありますが、お手伝いさせていただきます。と考えておりますので皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

経験したことのない速さで変化する社会で生活しています。これに伴いわたしたちの生活様式も急速に変容しています。このような社会や時代の変化に遅れることなくイキイキと楽しく心豊かに生活していくことが人々の望みであります。この望みをかなえるための活動が生涯学習だと言われています。



これからは常盤校区、全体がイキイキし、より活性化されることを願ってお手伝いをしたいと思っております。何とぞ前任者同様ご協力方よろしくお願い致します。

私達にとつて PL法とは!!

PL法とは!!

昨年七月一日に公布された製造物責任法(通称「PL法」と呼ばれます。PLとは Product Liability の略)は一年間の周知期間を経て、今年の七月一日から施行されました。

PL法は、消費者および製品のユーザー保護を主な趣旨としています。既に海外では、PL法の考え方は、欧米はもとより、ブラジル、フィリピン、中国など、世界各国に急速な広がりを見せています。

「PL法とは」

消費者が製造物の欠陥により生命、身体又は財産に被害を受けたときに、製造業者等に過失があるか否かを問うことなく、製造物に欠陥があることを根拠として、製造業者等が消費者に対し民事上の賠償責任を負うことを定めた法律です。

「PL法の特徴」

PL法は、製造業者等に過失があるか否かを問うことなく、製造物に欠陥があれば、製造業者等は賠償責任を負担することとしています。つまり、PL法は、過失責任の原則を採用せず、

無過失責任の考え方を採用しているわけです。

「PL法の目的」

従前の過失責任の原則のもとでは、消費者が製造物の欠陥により被害を受けた場合、被害の発生について製造業者等に過失があることを主張、立証しなければ法的救済を受けることはできませんでした。この点、PL法では消費者は製造物の欠陥を主張、立証すれば、製造業者等に対して法的責任を追及することが出来ることになったわけです。

「製造物と非製造物」

製造物となるもの
血液製剤・ワクチン・部品・原料・中古品
。非製造物となるもの
農林水産物・不動産・電気等の無形エネルギー・ソフトウェア・廃棄物

以上は「朝日中央総合法律事務所発行、「PL法とはどんな法律か」の中から抜萃致しました。」

ペンクレー

家族の伴

後岡の辻 梅林 京子

早いもので、私達が一つの家族を築いて十五年がすぎ、この地に帰って来て八年になるころです。

結婚しだちの頃は、まさかここにもどって来るとは思ってなくて、悠々と暮らしていたのが、二人の子供ができたこと、主人の病気をきっかけにここに住ま居をうつすことになりました。十五年前は、今ほど開けてもなく、交通量も少なくて、静かなところに主人の両親もいて何かと心強いものがありました。

でも、やはり生活してゆくと、自分が描いていた理想には近づけず、現実には山あり谷ありで一日、一月、

一年とすぎてゆきました。その生活の中で苦しいことも楽しいことも喜怒哀楽をわちあえる嘘のない家族でありたいと思って、過ごしてきた様に思います。

いつもおっとりのんびりした性格の中三の女の子、好奇心旺盛で毎日が新しい発見の小六の男の子、この二人にふりまわされて、なかなか夫と二人だけでのんびりとした生活には、なれそうにないこの頃。

しかし、我家にも新しい年を迎えて私の父が亡くなるという事があり、深い悲しみの中で、夫や子供達がいさえとなつて心強く感じられて、やはり家族があつて良かったなあと、つくづく身にしみたものです。

これからも、なかなか順調とはいかなくても、正直に自分の気持ちをぶつけられる家族でありたいと思います。そういう家族を大切にしたいものです。

次回、亀浦の谷口真里子さんにお願いします。



香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。常盤校区の福祉事業のため、有意義につかせていただきます。厚くお礼申し上げます。

(自平成7年4月～至平成7年7月)

- 福田トシ子様 亀浦東 正 様
- ご夫君 福田 等 様
- 村田 崇様 大沢東 田 一 様
- ご尊父 大沢東 重 雄 様
- 國重 隆様 大沢東 國 重 一 様
- ご尊父 北則貞 高 正 三 様
- 日高正嗣様 北則貞 日 高 正 三 様

常盤校区社会福祉協議会

大正琴教室



火曜日の午後は、市民センターに、大正琴の哀愁を帯びた音色が響く。大正琴教室は、琴伝流講師、岩本弥生先生の指導で、平成三年三月から毎月二回の練習で六〇曲を、マスターしたというから、みなさ

んの熱心さがうかがえる。手がけたのは、童謡、流行歌、リバイバルソングと、レパートリーも豊富。月に一曲仕上げる、ということまで、宿題もあり、次の教室までの励みになるようだ。毎年校区の敬老会、文化祭には、練習の成果を披露し、みなさんを楽しませてくれる。

また二年ごとに、琴伝流美琴会(宇部市)の発表会が、文化会館であり、今年には美琴会十周年ということ、四月二十三日渡辺翁記念会館で開催され、「恋の季節」を演奏。いまは、秋の敬老会に向けて、「浜千鳥」「黒田節」「知床旅情」「だんな様

あい・わーく大学 「地域福祉講座」

於 山口県社会福祉会館

六月二十日(火)山口県社会福祉会館で「あい・わーく大学・地域福祉講座」が、開催された。

常盤校区からは、常盤自治会連合会、藤永保成会長などが受講した。

我が国では、人口の高齢化が、世界に類をみない速さで進んでおり、平成十二年(二〇〇〇年)には、国民の六人に一人が高令者、ということが予測されている。若年労働力の減少が、予想される中で、共に支えあい、共に暮らせる豊かな福祉社会を築くためには、どうすればいいか。

わたしたちは、いつまでも住みなれた地域で、家族や隣人と一緒に、暮らしたいと願っている。そこで、山口県では、在宅福祉活動を「福祉の輪」た。

お元気ですか。のひと声を

「お元気ですか？」など、声かけからはじめよう。あちらこちらで、いろいろな研修会も企画されている。機会を逃がさず出席して、資質の向上をはかることも必要だ。

「あい・わーく大学」では、こんなことを学習している。……と、岩本先生は満足そう。

の練習中。また、文化祭には、「月の砂漠」「悲しい酒」「風雪流れ旅」を、演奏の予定だそうで、ご期待下さい。とのこと。

発表会ごとに、レベラアップしてゆくのがうれしいと。新しい方募集中/見学にいらして下さい。とのこと。

追憶

— 従軍の思い出 — (五) (最終回)

菽 本 義 雄

持っていく食糧および医薬品等は検問所で連合軍の検問を受け、数量が多ければ没収されました。我々の所属する旧桂旅団全員がピートン地区に集結させられたのです。

その日から各部隊の自活生活が始まりました。まず手始めに椰子の実の古いのを拾い集めて椰子油を作らなければなりません。塩は海水を汲んで古木を集め海水を炊くのです。見事な塩が出来上がり、皆で喜んだのです。

風呂はスコール(俄か雨)で代用です。ほとんど毎日午後になるとスコールがやって来るので、フンドシ一枚になりタオルと石鹸を持って体を洗ったものです。早くしないと十分か十五分でスコールは止むのです。付近には現住民は誰もおらず、連合軍の命によりこの地区から追い出されたとのことでしたので、堂々とスコールを利用できたので

連合軍の指示で山裾の開墾をして農地を作り、そこにトウモロコシを植え付けるための作業が始まりました。部隊の炊事からの食事は量が少なく腹がへりましたが、「タペオカ」というイモの一種が野生でたくさん生えていましたので大層助かりました。このイモの茎を折って土に差し込んで二、三か月もすると、イモがとれるほどに成長する便利な食べ物でした。この近所も野生のバナナ、パイヤ、椰子等がたくさんあって、不自由はしませんでした。

そのころ戦友より俳句を教えてもらい、私も駄作をつくってみました。満月に故郷偲び立つ歩哨椰子の水飲めばほのかに旅愁あり望郷に母の笑顔が迫り来る昭和二十一年になり、いつ日本に帰れるのか見通しはたちません。何年ここで生活するのだろうかと思

ながらの作業の毎日でした。そして同年四月の末ごろ部隊全員に集合の連絡がありました。その席で部隊長が開口

一番、「皆はよく頑張ってくれた。連合軍の命により五月六日早朝に日本に復員するためメナド港にて乗船することが決定した。皆は日本に帰ったら戦後の復興に大事な体だから元気な姿で日本に帰って欲しい」との訓示がありました。その後、ワッツという大歓声が湧き起こったことは言うまでもありません。こんな嬉しいことはありませんでした。夢にまで見た日本に帰れるのです。宿舎に帰った私たちは、すぐ全員が身辺の整理を始めました。部隊より支給された旧軍服各二枚、シャツ、毛布、外套、地下足袋、軍靴等がそれぞれに支給され復員に備えました。

ついに五月五日が来ました。午前九時ごろピートンの宿舎を出発し足取りも軽くメナド港目指しての行進も苦にならう筈がありました。その道中で現住民たちがタドタドしい日本語で「サヨナラ」と言ってくれて感激しました。そして夜明けごろメナド港の埠頭に全員が到着しました。

連合軍の将兵三名の立ち合いのもとに、部隊本部が連合軍側に出していた乗船名簿が一人一人読み上げられ、名前を呼ばれたものは「ハイ」と大きな声で返事をし乗船するのです。私の名前が呼ばれ乗船したときの嬉しさは格別のものでした。

全員が乗船を終わりに、いよいよ出港です。船は静かに岸壁を離れていき、椰子林の木々が次第に小さくなっていきます。「サヨウナラ」セレベスよメナドよ、二度と再び訪れることはないであろう、メナドよサヨウナラ。

船は途中名も知らない島で給油をしてまたすぐ出港し。海上を滑るようにして日本上陸の目的地である和歌山県南端にある田辺港を目指し、我々の夢と希望を乗せて太平洋を北上したのです。十二日間島影も見えませんでした。現在台湾の東側を航行しています。「本船はただいま九州の東海上を走っています」という放送に、無事日本に帰れる喜びが次第に高まってきました。

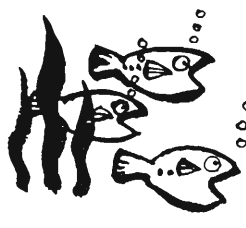
勲功甲」と軍歴書に書かれています。船が静かに埠頭に着き、上陸開始です。ついに帰ってきました。祖国日本に無事帰って来られたのです。万感胸に迫って目頭が熱くなったことは今でも覚えて

います。昭和十九年四月一日現役兵として山口四十三連隊に入隊し、フィリピン・セレベスと転進し、復員まで二年一か月、無事に復員できたことは神仏のおかげと強く思ったのです。思えば我々が乗船していた「メキシコ丸」と同じ運命を辿った船舶が太平洋の戦争海域において、実に二千隻余りの膨大な海没の記録が残されており、また多くの艦船が海の藻屑と消えて数十万人の人命を犠牲にした、冷酷悲惨な戦争を絶対に起こしてはならないと強く思うとともに、戦没者の霊に対してご冥福をお祈りし、今日の平和が限りなく続きますよう祈ってやみません。

この手記は山口県庁より送ってもらった軍歴書を参考にし、また東京より送って来た小冊子の一部を転用

— お知らせ —

- 9月15日(祭) 敬老会
- 9月23日(祭) ウォークラリー大会
- 11月11日(土) } 文化祭
- 11月12日(日) }



(大沢住宅自治会長) 宇部市西岐波二三四

合掌

コミュニティ常盤

平成8年1月1日

No. 28

発行

常盤校区コミュニティ推進協議会

TEL 22-1455

新年 あけまして
おめでとうございます。

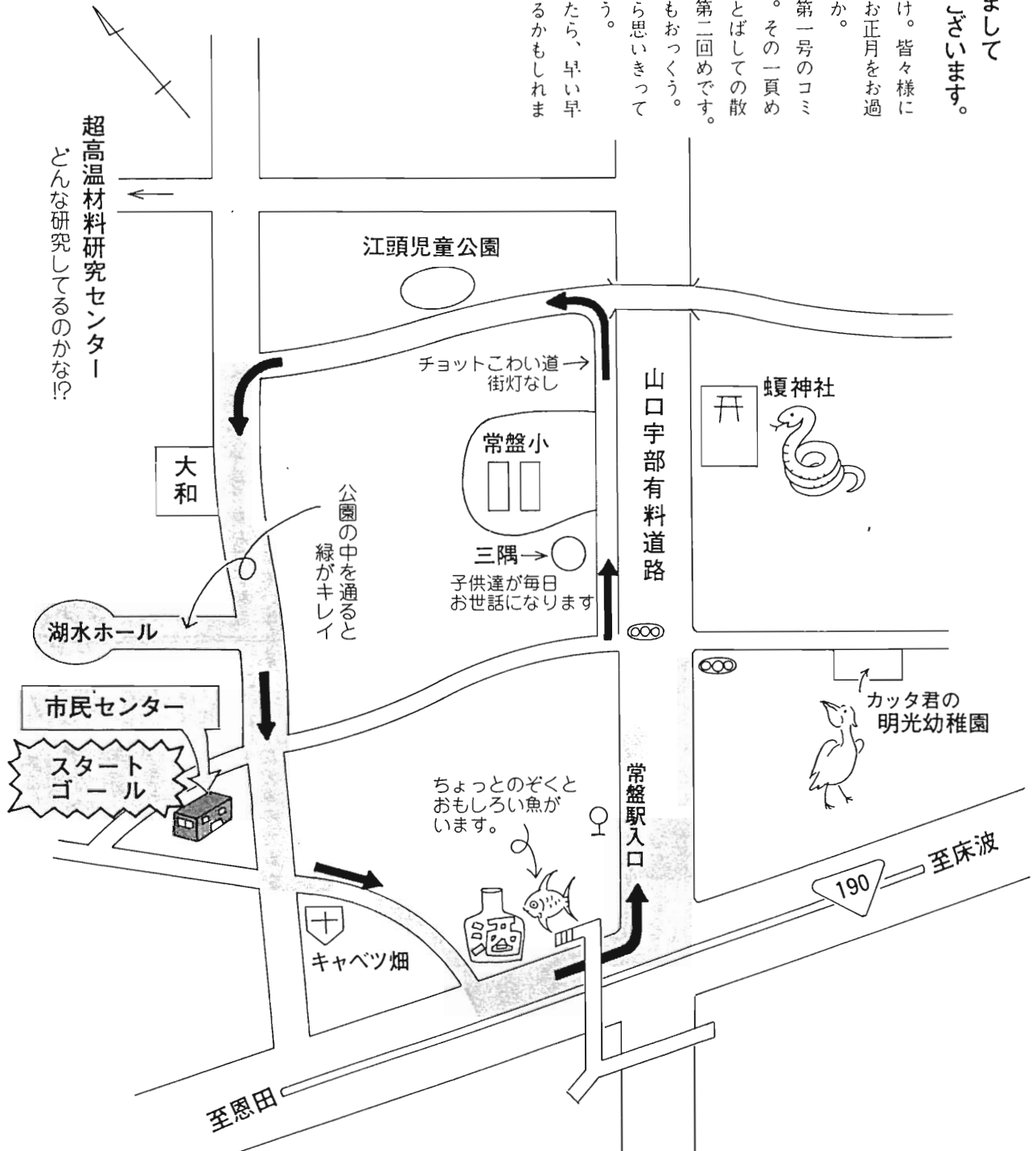
子年の幕明け。皆様には
どのようなお正月をお過
ごしでしょうか。

さて、今年第一号のコミ
ュニティ常盤。その一頁め
は寒さをふっとばしての散
歩コース紹介第二回です。
寒くて散歩もおっくう。

でもこたつから思いきって
出てみましょう。

ひよっとしたら、早い早
い春が見つかるかもしれま
せん。

さわやか散歩マップ



超高温材料研究センター
どんな研究してるのかな!?

チョットこわい道→
街灯なし

常盤小

三隅→
子供達が毎日
お世話になります

ちょっとのぞくと
おもしろい魚が
います。

公園の中を
通ると
緑がキレイ

山口宇部有料道路

蛭神社

カッタ君の
明光幼稚園

190

至床波

キャベツ畑

至恩田

常盤駅入口

大和

湖水ホール

市民センター

スタート
ゴール

子 年 生

私の目標

石川 絵理

一学期とくらべて、自主勉強の数も増えてきたし、漢字を書くのも、なんとなく自信があるからです。それに、計算と読書は少し苦手だけど、漢字は得意だからです。

もう一つの目標は、

六年生でのマラソン大会をがんばることです。

ま

です。

私には、来年の目標が二つあります。ひとつは、ペン習字をがんばりたいと思います。今の成績が、8段。それがかべのように、なかなかやぶれません。今年中には、必ず特たい生になりたいと思います。

そして、もうひとつは、バレーボールです。試合に出るたびに、勝てそうなんだけどなかなか勝てません。プロの選手の活やくを見ながら、自分のポジションをしつかり研究して、西岐波小をぶちやぶってやりたいと思っています。

「ぼくの目標」

蔵本 敦士

ぼくの目標は、自主勉強をがんばることです。とくに、漢字をがんばりたいです。どうしてかと言うと、

ぼくが、来年がんばりたいことは、三つあります。まず一つは、スポーツです。ぼくは、今まで、サッカーくらいしかしていませんでした。でも今年からは、フットボールや野球にも目をかけてがんばりたいと思います。もう一つは、勉強です。ぼくは今、得意苦手の

教科があります。けど今年からは、その苦手の教科をなくすようにして、どの教科もよくできるようにしたいです。三つめは、読書です。ぼくは、今年よくしたと思うけど来年はもっと読書をしたいです。

「としおとこ」

尾崎循環器内科院長
尾崎 正治

平成8年はネズミ年で、昭和23年生まれの小生は4歳の年男という事になる。昭和23年といえば戦後のベビーブームで最近

の少子社会と異なり、小学・中学とも一学級50名余りです、私の

来年の抱負

道畑 曉

ぼくが、来年がんばりたいことは、三つあります。まず一つは、スポーツです。

ぼくは、今まで、サッカーくらいしかしていませんでした。でも今年からは、フットボールや野球にも目をかけてがんばりたいと思います。もう一つは、勉強です。ぼくは今、得意苦手の

高校 (愛媛 県立松山北高等学校) は一学級55名で13クラスもあった。競走する相手は多かったが、今と異なり学習塾に行き者などほとんど無く、いじめも無くのんびりしていた。今の子供はかわいそうと思うが、これは今の大

人の責任であり、学校教育がどうのこうのと言う前に親としてその責任を自覚すべきと思う。さて、平成7年は阪神大震災に始まり、オーム事件に終わった暗い1年であった。その歴史に残る大震災、大人災を教訓とし、平成8年は明るい年であってほしいものだ。私は今年年男の48歳となり、早いもので開業してこの5月で4年目を迎えることになる。開業していると感冒から急を要する心筋梗塞までパライティに富んだ疾病や、3歳の子供から92歳のお年寄までいろんな患者さんにせつすることができ、また、大学病院時代に比べより親密な医者―患者の関係が持てるようになった。医大に長らく(約20年間)在籍していたため、急を要する患者さんは、医大や市内の病院の後輩に入院を頼むことができ、患者さんに迷惑をかけることが比較的少なく診療ができる恩恵に浴している。入院施設をもたないため余暇も比較的自由に

わたしたち

比較的自由に

!! よろこび...!!

藤永会長、県表彰!!

さる、十一月十六日、県ふるさとづくり推進大会(於、山口市秋穂二島、県セミナーパーク)で、ふるさとづくり功労章の発表がありました。

県表彰の、ふるさとづくり功労章は、県内六名が発表されました。その中のひとりに、藤永保成コミュニティー推進協議会会長が選ばれました。



楽しむことができ、土、日ロチョロしたいと思えます。はテニスたまに釣り(冬はスキー)、夜はプールと健康的な日々を送っている。ネズミ年の今年は猫に食べられることなく、元気にチャ



ペンクレー

さようなら、鍋島

亀浦東 谷 口 伸 一

立ちたくなかった。背泳ぎしたり、横泳ぎしたりしてようやく鍋島の岩場にたどり着く。少し休めると雨が降りだした。ぼつぼつと雨が降りだし、泳ぎが上手で先に着いていた友達が「雨が降りだしたけー、帰ろうやー」という事でひき返す事になったのだ。そう、あれは、三十年前、神原小学校五年の時、友人五人で、琴芝駅から電車に乗って常盤海岸に泳ぎに来たのだった。今では、とても海岸から鍋島まで泳いで渡る勇気はない。そして縁あって二十年前鍋島の前に家を建て家族で住んでいる。鍋島はわかめ、天草、うにやかきが取れ、潮干狩りが出来、潮が満ちると島干潮になると地続きになる



特異な島だ。満月の夜中には、海全体がきらきら輝き、そのきらめきの中に鍋島は美しいシルエットで浮かび上る。東京から飛行機で帰って来た時、鍋島が眼下に見えるのとほっとする。そのような鍋島の与えてくれる楽しみ、喜び、感動や安らぎはお金に換算しにくい。空港が大きくなって、ジャンボ機が自由に飛べるようになれば宇部にいくらのお金が入るといえるのは計算しやすい。高校時代の島田先生の歴史の時間を思い出す。「いいですか、皆さん。世の中を動かすのは金ですよ。歴史を動かすのは金ですよ。正義、そんなもんじゃありませんよ。」

鍋島が生き残れるための手助けを何もできなかった。その運命を知ってか知らずか、半年前から帽子の羽飾りのようにはえていた三本の松が枯れ、鍋島は老いた寂しい姿になってしまった。少し心静かに見送れるような気がする。

さようなら、鍋島。

次回は、亀浦の
草野英明さんに
お願いします。

香典返し

次の方々から香典返しとして、常盤校区社会福祉協議会にご厚志をいただきました。常盤校区の福祉事業のため、有意義につかせていただきます。厚くお礼申し上げます。

(自平成7年8月～至平成7年12月)

- | | | |
|-------|----------------|-------|
| 川内雪子様 | 亀浦西
ご夫君 川内 | 實 様 |
| 西村隆彦様 | 亀浦東
ご尊父 西村 | 逸 夫 様 |
| 道畑信夫様 | 亀浦西
ご尊父 道畑 | 春 夫 様 |
| 溝口知頭様 | 亀浦北
ご尊父 溝口 | 新 尚 様 |
| 貞光為行様 | 北則貞B
ご母堂 貞光 | ツ 子 様 |
| 石川満彦様 | 北則貞
ご母堂 堀部 | 松 子 様 |
| 柴田緩子様 | 岡の辻
ご夫君 柴田 | 敏 行 様 |
| 友川清人様 | 亀浦東
ご母堂 友川 | 信 子 様 |
| 前田澄江様 | 大沢西後
ご夫君 前田 | 則 昭 様 |

常盤校区社会福祉協議会

教室紹介

囲碁のすすめ

(一)

囲碁は趣味として上品で高尚なイメージがあつてたしなむことをすすめられる。しかし内容的に見ると相当な攻撃性をはらんでいる。「殺す」「切る」「目を潰す」「頭をたたく」などの言葉がある。人はその攻撃性を公正なルールにのっとって平和的な形で遊びとして楽しむことができ、「善敵は憎さも憎し懐しき」という川柳がある。私が多少マジメに囲碁を勉強しようと思つたのは六十才からである。以前はお前の善は野暮だと言われ続けて定年をむかえてしまった。盤側の丘目さんは善玉

ではなく六だ、その石は盤上でなく畳に置けと言ったひどい連中が懐しく思ひだされる。

碁を知らない人から見たら善盤は狭いと感ずるかもしれないが一度知ってみると善盤は無数の広い世界である。幾くつかの石が置かれると次にどこがよいかさっぱりわからないくらい広くなる。そもそも善は相手の「石を取る」という要素と「地を囲う」という要素から成りたつているが「石を取る」は現実的な能力であり「地を囲う」は着想と関つている。この両方の能力を組み合わせて使うのが善の本質なのである。これを利き脳の観点からみると右脳はイメージや感性を司つている。善に関して言う

と善盤を広く見渡して構想を描いたり、どこが大きいかを計算ではなくて感性で感じ取る能力と関係している。左脳は計算したり、この石が取れるかどうか、死ぬか生きるかという判断に関わつているということである。

六十才を過ぎてからの善は、実に長い道のりを内容豊かなプロセスをたどるところを楽しみにしながら打つのであるが、打ち始めると双方とも冷静な手から次第に気合いの手、むきになった手、焦つた手、気の抜けた手のくりかえしで一局を二百手から三百手を経て終局になる。「定石」も打つが「てい石」や「さだめ石」がでて反省しきりである。

(銅玄典太)

国勢調査

宇部市の人口		常盤校区の人口	
175, 113人		8, 125人	
男 83, 972人		男 3, 911人	
女 81, 141人		女 4, 214人	
世帯総数 63, 727		世帯総数 2, 873	



混ぜれば、ごみ
分ければ、資源

わたしたちの回りに再資源化できるもので、捨てられていくものは、まだまだたくさんあります。食品、飲料、化粧品、びん、缶、スプレー缶は、ステーションに。古新聞、古雑誌、アルミ缶、ビールびん、一升びんなどは、子供会などの、集団回収に出しましょう。

歳末行事で三世代交流

年末恒例となった、タコづくり、輪飾りづくりが、十二月十日、常盤小学校体育館であった。

この教室は青少年健全育成協議会(有田雅晴会長)と仲間づくり伝承部(中重寛部長)のもとで行われた。タコづくりは、センター開設時から、また輪飾りづくりは二年前から行っている恒例の行事である。

参加者は小学生百二十人で、老人クラブのメンバーの指導で、はじめて手にするワラに悪戦苦闘していた。この日は四年生を中心に一年生から六年生までがそろい、親や幼児の姿もあった。

はじめに、タコづくりに挑戦、高学年生は竹ヒゴを十字に組み和紙をはる和ダコ、低学年はビニール袋を使った簡単なビニールダコを作った。出来上がったタコには思いおもいの絵を書き入れていた。

このあとメインの輪飾り



どんなタコができるかな?

!! お年寄り、手取り足取りのコーチに汗ダクダクの一日であった。三世代の絆も深めた。年末恒例の行事であった。

先生は老人クラブの山本昭さんで、ワラを持つことさえ珍しい子どもたちは「縄は右ないだ、しめ縄は左ない、じゃけん 気をつけて!!」の声に、子どもたちはキョトン



ほくのわたしの輪かざりて新年を迎えます

みかんのつかみ取りに長蛇の列!

常盤校区文化祭

11月11日(土)、11月12日(日)は、校区文化祭で賑わった。

バザーの焼き鳥、うどんコーナーは大繁盛。

福引きでは、持ち券と、景品を合わせるのに真剣な顔。

みかんの掴み取りには、長蛇の列ができた。

また、ステージでは、唄、踊り、手品 etc の熱演。

センター二階に、設けられた“お茶席”では、秋の風情を形どったお菓子で、一服のお茶を楽しんだ。

作品展も力作揃い、毎年このことながら、区民の巧みな“技”に、目を見張った。

常盤校区母子保健推進協議会(黒田春美さんほか六名)主催で、乳幼児学級が開かれ、七夕、水遊び、戸外遊び、講演会など九回の講座が、十二月十一日(月)閉講した。



ひと足はやいサンタさん

(常盤校区乳幼児学級)



ちょっと

ご注意を!!

最近、宇部市内で誘拐未遂事件が数件発生している。

12月12日(火)東岐波小3年男子、「お母さんが倒れたので連れて行こう」と声をかけられる。09東岐波店前歩道で濃紺の乗用車に乗ったその男は30才ぐらい、サングラスをかけ茶色のコート着用。

12月15日(金)琴芝小4年女子。下校中に「車に乗ったら早く帰れるよ」と声をかけられる。軽トラククその男は40才位、サングラスをかけ、茶色の作業服を着用。

12月16日(土)常盤小6年男子。「お母さんの具合が悪い。車で送ろう」と声をかけられる。岡の辻スーパー大和付近を友人宅より帰宅中の出来事。軽乗用車にのった30才ぐらいの男であった。

子供達には口を酸っぱくして、知らない人についていけないように言いましょう。悲しい事がおこらないように。犯人殿、誘拐の成功率はほぼ0%。割にあわない犯罪と肝に銘じ手を染めるのだけはやめるべし。

地域で守ろう... 子どもたち...

敬老の日”式典

九月十五日(金)

「敬老の日」式典は常小体育館で行われ、七十五才以上のおとしより二百名が参加された。

米寿十二名、金婚四組が市社協から、お祝いの品を受けられた。

